



つくば・市民ネットワーク会派通信

2024年 春 会派活動報告

発行：つくば市議会会派 つくば・市民ネットワーク
あさのえくこ・川村直子・小森谷さやか・皆川幸枝
Tel&Fax:029-859-0264 つくば市二の宮2-1-3クラブビル1F
tsukubahotnet@ybb.ne.jp https://tsukuba-net.jp

2023年 こんなことに取り組んでできました!!

つくば・市民ネットワークの市議は市民の声をもとに定例会(年4回)ごとに以下の項目で一般質問を行いました。
また委員会でも活発に発言、提案を行っています。

■会派代表質問・一般質問項目

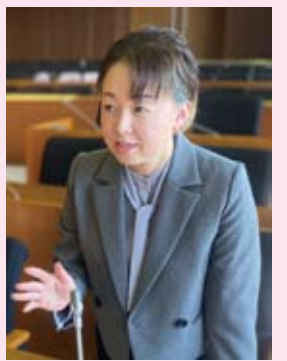


つくば市議会議員
福祉保健委員会委員
あさのえくこ

- バリアフリーマスタープランに当事者の視点を取り入れる仕組み
- 会計年度任用職員の処遇改善
- 公立幼稚園の3年保育、延長保育
- 読み書き困難(発達性ディスレクシア)への支援
- 児童発達支援センターのあり方検討
- 人工内耳の電池補助
- 学校図書館の環境改善
- 外国につながる子どもたちへの日本語支援
- 避難所での要支援者対応と個別避難計画の作り方改善

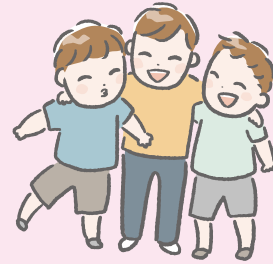


■一般質問項目



つくば市議会副議長
総務文教委員会委員
小森谷さやか

- 児童発達支援事業者、放課後デイ事業者に対する監査と指導
- TX沿線児童クラブ施設の日中開放
- 学校での不適切指導防止とチーム担任制
- スーパーシティ事業における個人情報保護の対策
- 水道料金の改定は慎重に
- 社会福祉協議会の体制強化



- 人工芝のマイクロプラスチック問題
- コロナワクチン、HPVワクチン接種後の様々な症状への対策
- 情報コミュニケーション条例に向けて
- 災害時におけるトイレの問題

■一般質問項目



つくば市議会議員
市民経済委員会副委員長
川村 直子

- 配偶者暴力相談支援センター(DV専用相談窓口機能)の設置を
- 性暴力や予期しない妊娠への支援対応
- 市職員と教職員へのLGBTQ研修
- 障がいのある人、トランスジェンダーへの健診時の配慮
- 投票所のバリアフリー
- 中学生自転車用ヘルメット、リサイクル

- 気候危機対策(気候市民会議の成果・太陽光発電設備導入)
- 市政への市民参加の促進、審議会等市民委員の選考
- 市営住宅入居条件緩和
- 市内の放射性汚染土の安全性実証実験計画から～再利用は安全か?

■一般質問項目



つくば市議会議員
都市建設委員会委員長
皆川幸枝

- 洪水浸水ハザードマップの更新、水害対策強化
- 森林保全と木質バイオマス活用
- 谷田部・荃崎地区への公立保育所再配置
- 高校通学定期代の負担軽減とバス停設置
- 大規模給食センターの検証と荃崎エリアへの自校式給食導入

- オーガニック給食と有機農業推進
- 不登校児童生徒支援事業の拡充と学校のあり方
- 公園や学校でのプレイリーダー活用
- 精神疾患にも対応した地域包括ケアシステムの推進
- 障害者や高齢者のバリアフリー住宅政策

2023年度に政策提案や一般質問で実現したこと

- ❖ 不登校児童生徒支援事業のさらなる拡充
(校内フリースクールの整備、民間フリースクールの運営者・利用家庭への支援)
- ❖ 地域交流センターに地区相談窓口を設置
- ❖ BiViに市民窓口設置



地域交流センターに設置された地区相談窓口



BiViつくば2階のつくば駅前市民窓口センター

- ❖ LGBTQに関する市職員、教職員研修の拡充
- ❖ 気候市民会議の実施
(つくば市で無作為抽出での市民会議)
- ❖ 公共施設のゼロカーボン化に向けた再生可能エネルギー設備導入調査

- ❖ 一般廃棄物の最終処分方法に関する検討
- ❖ 人工芝の流出防止のためのフィルター設置
- ❖ 洞峰公園運営協議会の設置
- ❖ 議会の委員会、全員協議会の録画映像配信の開始



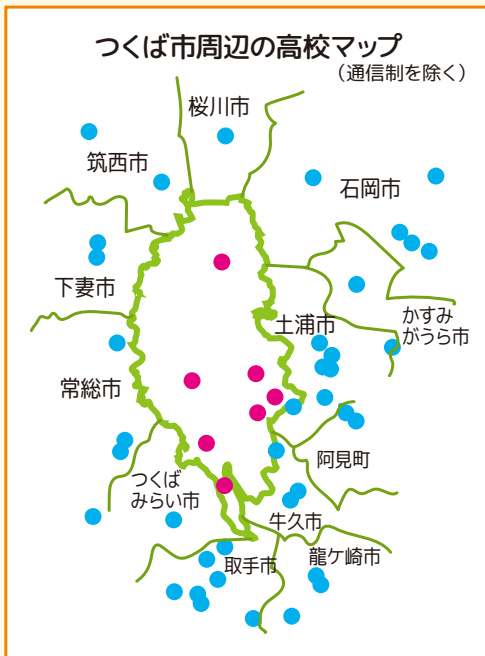
市民参加の運営をめざす洞峰公園

2024年度にめざすこと

- ❖ 校内フリースクールの拡充(全小学校へも配置)
- ❖ 自校式給食の検討開始
- ❖ つくバスのバス停増設(荃崎高校北、羽成児童公園)
- ❖ 高校遠距離通学費用の一部補助
- ❖ 高齢者タクシー運賃助成の拡充(80歳以上は条件撤廃)
- ❖ 洪水浸水ハザードマップの更新
- ❖ 保育士配置の充実(1歳児6人に保育士1人を5人に1人へ)
- ❖ 投票所バリアフリー推進(点字投票・代理投票方法の周知徹底等)
- ❖ 「福祉の店」を市庁舎内に開設
- ❖ 学校司書の勤務日数増加、中学校への日数増
- ❖ 学校における日本語学習支援員を市独自で増員
- ❖ 人工内耳の電池補助
- ❖ 国保健診の案内文の改善(障害を持った方が受診しやすいように)

市民ネット提案

遠距離通学の高校生支援!



TX沿線開発で子どもが急増する一方、「市内に高校が少ない」問題は県立高校の中高一貫化でますます拍車がかかっています。つくば・市民ネットワークは、高校設置に向けた勉強会への参加や、学校訪問、議会での提案など、さまざまな方向から取り組んでいます。新しい高校を作る目途は立っていない状況です。もし仮に高校設置が決まったとしても、建設までは何年もかかるため、遠距離通学をする家庭にとって定期代等が経済的な負担として重くのしかかっています。

このような状況から、議会で、市民ネット始め、他の議員からも通学定期代の負担軽減の提案があり、令和6年度予算に「高等学校通学支援金」制度が提案されました。

その支援内容は、公立、私立を問わず、

①公共交通機関(鉄道、路線バス、スクールバスまたはコミュニティバス)で通学し、定期代が年間10万円以上かかる高校生に、市から年額3万円を支給。

②自転車等で遠距離通学をしている高校生には年額1万円を交付。

(※距離等、詳細は検討中。)

今後も、引き続き、市民ネットは高校不足問題に取り組んでいきます。

議会をもっと分かりやすく、オープンに!

つくば・市民ネットワーク会派が結成されてから20年が経ちました。この間、開かれた議会を目指して市民ネットを含め、議会全体で改革に取り組んできました。

例えば20年前は、どの議員がどの議案に賛成・反対したのかが、公表されていませんでした。当初は市民ネットの議員が議会の中で働きかけてもなかなか状況は変わらず、仕方なく独自に採決チェックをして市民ネット通信でお知らせしてきました。ようやく議会報で議員の賛否一覧が掲載されるようになったのは2015年です。

このような議論を重ねるうちに、議会全体でも議会改革の機運が高まってきました。議会報告会を開催するようになり、一般質問の資料を傍聴者用に配布することになり、議長候補者が所信表明をするようになり……とうとう今年度は「委員会の録画映像配信」が実現しました。来年度は市役所1階に議会中継を流す電子黒板も設置されます。

私たちが要望してきたこと以外にも、傍聴者向けに自動文字起こしモニターが設置され、つくば市議会チャンネルが開設され、来年度は一般質問資料を映し出す大型モニターも設置されます。

20年前と比べると格段の進歩。これからも議会の透明化に向けて様々な取り組みでいきます。皆さんもぜひ、チェックしてください!



委員会の録画映像配信はこちらから ↑



いろいろな情報でも発信中 ←

議会広報広聴委員会作成動画より